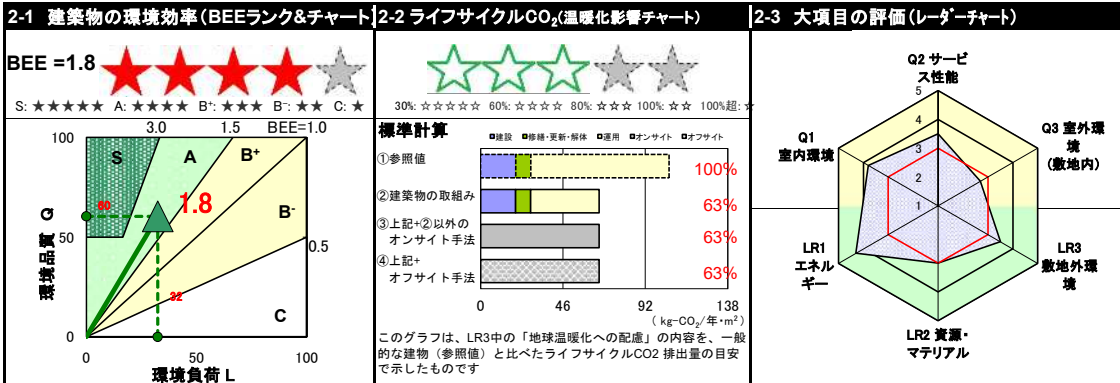
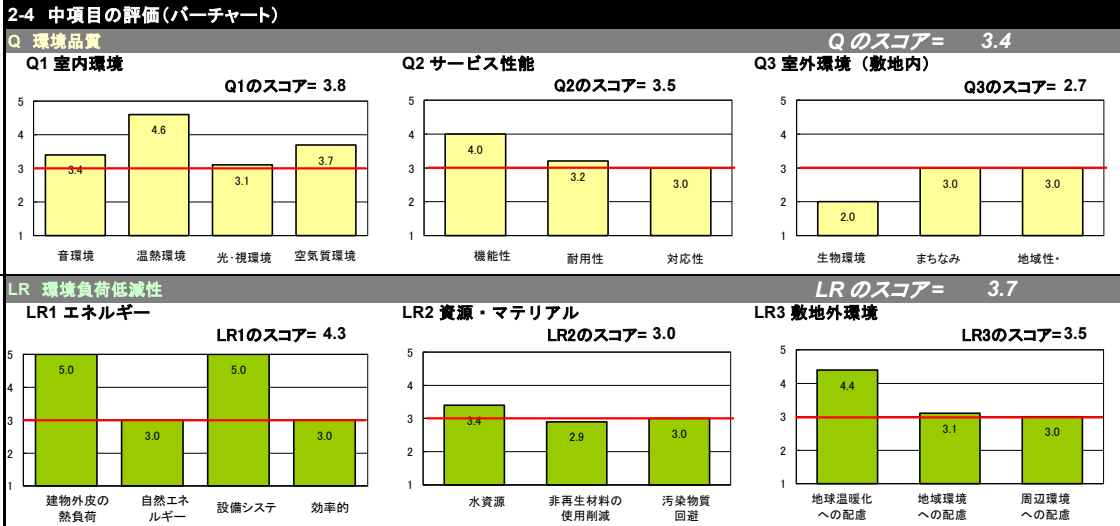


評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)春日井市八光町一丁目	階数	地下0階地上14階
建設地	愛知県春日井市八光町一丁目14番、旭町一丁目3番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	364 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2028年9月 予定	評価の実施日	2026年8月21日
敷地面積	1,548 m ²	作成者	佐藤 満
建築面積	640 m ²	確認日	2026年8月21日
延床面積	7,192 m ²	確認者	佐藤 満



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
4.4	2.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.0	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

- ①地球温暖化への配慮
- LR-3 1 地球温暖化への配慮
- ②資源の有効活用
- Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
- LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
- ③敷地内の緑化
- Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
(仮称)春日井市八光町一丁目

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		独自基準	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										3.4	
Q1 室内環境						0.40			-	3.8	
1 音環境				0.4	4.0	0.15	3.3	3.3	1.00	3.4	
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.50		3.0	0.50		
1.2 遮音				0.5	5.0	0.50		3.6	0.50		
1 開口部遮音性能				-	5.0	1.00		5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	-		3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-		3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-		3.0	0.20		
1.3 吸音				-	-	-		-	-		
2 温熱環境				0.3	3.0	0.35	5.0	5.0	1.00	4.6	
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50	5.0	5.0	1.00		
1 室温				3.0	3.0	0.63		-	-		
2 外皮性能				3.0	3.0	0.38		5.0	1.00		
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-		-	-		
2.2 湿度制御				3.0	3.0	0.20		-	-		
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30		-	-		
3 光・視環境				0.2	2.4	0.25	3.3	3.3	1.00	3.1	
3.1 昼光利用				0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30		
1 昼光率				3.0	3.0	0.60		3.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	-		3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	3.0	0.40		3.0	0.20		
3.2 グレア対策				0.3	1.0	0.30	4.0	4.0	0.30		
1 昼光制御				5.0	1.0	1.00		4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	3.0	0.15		3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	3.0	0.25		3.0	0.25		
4 空気質環境				0.2	3.6	0.25	3.7	3.7	1.00	3.7	
4.1 発生源対策				0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	4.0	1.00		4.0	1.00		
4.2 換気				0.4	3.0	0.40	3.3	3.3	0.38		
1 換気量				3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	-	-		4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-		-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-		-	-		
2 喫煙の制御				3.0	-	-		-	-		
Q2 サービス性能						0.30			-	3.5	
1 機能性				0.4	3.3	0.40	4.2	4.2	1.00	4.0	
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	-		-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-		5.0	1.00		
3 バリアフリー計画			独自	3.0	3.0	1.00		-	-		
1.2 心理性・快適性				0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.40		
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	3.0	-		3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-		-	-		
3 内装計画				3.0	3.0	1.00		3.0	0.50		
1.3 維持管理				0.3	4.0	0.30		-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	4.0	0.50		-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	4.0	0.50		-	-		
2 耐用性・信頼性				0.3	3.2	0.31		-	-	3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48		-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80		-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20		-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.7	0.33		-	-		
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23		-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔			②	-	5.0	0.23		-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				-	5.0	0.09		-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08		-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	5.0	0.15		-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	2.0	0.23		-	-		
2.4 信頼性				0.1	3.0	0.19		-	-		
1 空調・換気設備			②	3.0	3.0	0.20		-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20		-	-		
3 電気設備				3.0	3.0	0.20		-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20		-	-		
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20		-	-		

3 対応性・更新性				0.2	3.4	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	-	3.0	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				-	-	-		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	-	-		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				1.0	3.4	1.00				
1 空調配管の更新性	②			-	3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性		電線管敷設		3.0	5.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性		電線管敷設		3.0	5.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30		-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出	独自③			-	2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			-	3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30		-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			-	3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-			-	3.7
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		UA値:0.6以下 η AC値:2.8以下		3.0	5.0	0.33		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.17		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.77		3.0	5.0	0.33		-	-	5.0
4 効率的運用				0.1	3.0	0.17		-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-		-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-		-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-		-	-	
集合住宅の評価				1.0	3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	0.50		-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	3.0
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水		節水便器の採用		3.0	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	1.00		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	-	-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.9	0.63		-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	②			3.0	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	独自			3.0	2.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	LGS+石膏ボード		3.0	5.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68		-	-	
1 消火剤				-	-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50		-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率63%		-	4.4	0.33		-	-	4.4
2 地域環境への配慮				0.3	3.1	0.33		-	-	3.1
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.7	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減	独自			-	3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制	独自	駐輪、駐車スペースの確保、荷捌き車両の駐車スペースの確保		-	5.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		集団回収のゴミ置き場の設置、ディスプレイ機器の設置		-	4.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音	独自			-	3.0	1.00		-	-	
2 振動	独自			-	-	-		-	-	
3 悪臭				-	-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制				-	1.0	-		-	-	
3 日照阻害の抑制				-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策				-	3.0	0.70		-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30		-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE:建築(新築)2016年版+あいち版手引き

【仮称】春日井市八光町一丁目

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点		全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					4.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.4	0.10	3.0	
② 資源の有効活用					
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.09		
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09		
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19		
③ 敷地内の緑化					2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:28.4%/建物緑化:0%	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)			1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)春日井市八光町一丁目

計画上の配慮事項	
総合	住戸はZEH水準の省エネ性で設計されていて環境配慮に寄与している。 主要駅近くに建設され、外観は植栽などで地域の景観向上を意識している。
Q1 室内環境	開口部には遮音性能の高い T-2以上を使用し、断熱性能も高い水準を満たしている。
Q2 サービス性能	耐久性のある仕上げ材、配管を使用し、更新の必要間隔を長く計画している。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に豊かな植栽を施して緑化に努めている。
LR1 エネルギー	各住戸の省エネ性はZEH水準(外皮UA0.60以下、一次エネBEI0.80以下)となるよう設計されている。
LR2 資源・マテリアル	躯体材料と仕上げ材が容易に分別できるようにしている。
LR3 敷地外環境	駐車場や駐輪場、ゴミ置場の設置で交通負荷や廃棄物処理への配慮をしている。
その他	